

今年も坂本の奥深く野登山のふもとに山全体を黄色く染めてミツマタが咲き乱れています。

亀山の北部、野登山（鶴足山）と仙ヶ岳の二山を結ぶ尾根を仙鶴（せんけい）尾根と呼びその深く沈んだ部分から南に降りて坂本に至る山道の途中にミツマタの群落が広がっています。

このミツマタは昭和20年代に、和紙原料として植樹されたのが自然と群落になったものです。和紙には結局、利用されることなく野生化していきました。枝が3つに分かれることでミツマタと命名されその分岐の数で成長年数がわかります。花の終わった後には小さい種子をつけこれで子孫を増やしていくようです。

この群落は地元の人でさえあまり知らなかったのですが2003年に初めてミツマタ祭りが開かれました。メディアにも紹介され林道も整備されて花期には大勢の人が来るようになりました。

ミツマタの花期は2-3週間と長く早春のシンボルフラワーとして、あの素晴らしい一帯をそのまま次の世代に残すことは亀山の自然を愛する私たちの使命でもあるでしょう。

2014年から新名神鈴鹿トンネル付近の高架橋下へのミツマタの植樹が始まりました。ここを「天空の森」と名付け新しい名所になるよう整備をしています。



「すごい、こんなところがあったのか」
これを初めてみた人は誰でも感動するでしょう。



花に埋もれて坂を登る。
心地よい風とほのかな香りが待っています。



沢にもミツマタの群落が増えてきました。
日当たりがいいので開花が早いです。
お弁当に絶好のポイントです。
ゴミは持ち帰ってね

ミツマタの開花時期はその年の気候や周期で変わります。
通常は3月25日頃から4月初旬までです。4月終わりには花期を終え種子ができ始めます。

連絡先 (一般社団法人) 亀山市観光協会
〒519-1111 亀山市関町新所664-2
TEL.0595-97-8877

2018年版

森の神秘

森の奥深く
人知れず咲き誇るみつまた群落



ミツマタ 三絆
ジンチョウゲ科
中国名 黄瑞香
日本では室町時代に中国より移入され、主に紙幣の原料となる。
花言葉：心の美・淡泊

毎年3月下旬になると
亀山市の野登地区坂本の奥の
ミツマタ群落がいっせいに開花します。
花期は2-3週間、
寒さもやわらぎ春芽ぶく頃
ご家族やお友達誘って訪ねてみませんか。

みつまたを愛する会
<http://kirakame.sakura.ne.jp/mitumata/>
Email mitumataw@gmail.com

群生地へのコース

農村公園の北に鎮座する 古井戸 古井戸

彌勒菩薩像



ミツマタの森へのリオニシテ



林

坂本棚田全景
南側の小山からの眺め

注意
坂本棚田より奥は
道幅が非常に狭く
車の侵入は危険です。



林道から望む落差百mの大滝



坂本棚田より奥は
道幅が非常に狭く
車の侵入は危険です。
注意

コース所要時間

地ニス

右木戸野外研修施設 ⇒ 歩行
坂本棚田 ⇒ 歩行40分
30分

群生地

天空の森コース

右示疾封，不當動施散一錢。

卷之三

62

石水渓野外 研修施設

2

100

1000

卷之三

Figure 1. Aerial photograph of the dam and reservoir.

A photograph showing a group of people standing in a field covered in fallen yellow autumn leaves. In the background, a dense forest of bare trees is visible under a clear blue sky. The scene is a typical autumn landscape in Japan.

天空の森へのヨース

現在、天空の森へはイベン
トだけがで
入ります、

表皮の強いミツマタは食と順調に成長します。

